TOUCH-B.R.A.I.N. INSTALLATION MANUAL

- 【注意】本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンUPすることが ございます。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。 また、本文中の画面表示及び数値は説明用に加工している場合があります。
- 【注意】本製品はエンジンECU制御情報をモニタリングする装置です。 そのため、本製品と車両の純正メーターの指示値に多少誤差が生じる場合が ありますが、本製品の故障ではありません。
- 【注意】本製品は特定の車種専用の機能が含まれます。 対応車種以外では専用機能は正常に動作しませんので、予めご了承ください。
- 【注意】本製品はノーマルECU車両を前提に製作されております。 車両のエンジンECUを交換、または書き換えを行っている場合、 正常に動作しない場合があります。 また、エンジンECUに擬似信号を送信する製品と併用した場合、 本製品が正常値を指さない場合がありますが、本製品の故障ではありません。
- 【注意】 車両をディーラーへ入庫される際は、本製品を故障診断コネクタ(OBD IIコネクタ) から取り外して入庫してください。 ディーラーによっては故障診断コネクタ(OBD IIコネクタ)に社外製品が接続されて いることで入庫を断られる場合があります。
- 【注意】 平成15年(2003年)以前の車両では車両配線の経年劣化などにより車両信号が 弱く、OBD Monitorの通信が確立できず正常に動作しない場合がありますので ご注意ください。
- 【注意】本説明書の表示内容は開発時のものを使用しております。 実際の表示と多少異なる場合があります。また、横画面をベースとした説明と なっていますが、縦画面でも操作方法は同じです。
- 【注意】本製品の海外への販売はご遠慮ください。 本製品はバージョンアップを伴う商品のため、販売後のアフターフォローは行えません。

BL+TZ

目次 · · · · · · · · · · · · · · · P. 2
注意事項 ・・・・・・・・・・・・ P. 3-4
パーツリスト ・・・・・・・ P.5
各部名称 ・・・・・・・・・・・・ P.6
取り付け方法 - 取り付け位置 ・・・・・・ P.7
取り付け方法 - 固定方法 ・・・・・・・ P.8
取り付け方法 - 接続方法 ・・・・・・・ P.9
画面説明 - メインメニュー ・・・・・・ P.10
画面説明 - サブメニューメニュー ・・・・・ P.11
画面説明 - ショートカットメニュー ・・・・・ P.11
画面説明 - アイコン説明 ・・・・・・ P.12
画面説明 - DIGITAL ・・・・・・・ P. 13
画面説明 - NEEDLE ・・・・・・・・ P. 14
画面説明 - LAP 計測 ・・・・・・ P. 15-19
画面説明 - タイムトライアル ・・・・・・ P. 20
画面説明 - LOG ・・・・・・・ P. 21-22
画面説明 - 故障診断 ・・・・・・・・ P.23
画面説明 - ECO ・・・・・・・・ P. 24
画面説明 - VSC/TRC ・・・・・・ P. 25-26
設定画面 - 基本設定 ・・・・・・・ P. 27-28
設定画面 – 無線 LAN 設定 ・・・・・・ P. 29
設定画面 - 車両設定 ・・・・・・・ P. 30-31
設定画面 - 燃費設定 ・・・・・・・ P. 32
設定画面 - モニター設定 ・・・・・・・ P. 33
設定画面 - タイムゾーン設定 ・・・・・ P. 34
設定画面 - リセット・デモモード ・・・・・ P. 35
USB メモリの使用について ・・・・・・ P.36
本体バージョンアップについて ・・・・・ P.37
表示項目一覧 ・・・・・・・・・・ P. 38-40
トラブルシューティング ・・・・・・・ P. 41-42
お問い合わせ ・・・・・・・・・・・ P. 43
保証規定・カスタマー登録 ・・・・・・ P. 44

注意事項

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、 装着前ならびに組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、 この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡しください。 品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱いによって受けられた損害や改造、 変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができ ませんので予めご了承ください。

※本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明(シグナルワードとその意味)						
▲警告	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡、 または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。					
▲注意	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または 中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。					

▲ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡、 または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・本製品は、DC12V車で車体(ボディ)アースの車両専用です。
 DC24Vまたは12V・24V兼用車に使用しないでください。火災の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
 また、配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を 取らないようにしてください。
- ・本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
 ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
 使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・接続、取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いします。
 ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、
 慎重に作業をしてください。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、 販売店または弊社までお問い合わせください。
 そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
 火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
 加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および
 電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けないでください。
 感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、視界や運転の妨げになる場所、
 不安定な場所に取付けないでください。
 運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
 事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- 本製品は車両本来の安全装置(VSC/TRC)を解除する機能が備わっています。
 本機能はサーキット走行やモータースポーツ以外の場面では使用しないでください。

注意事項

▲ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または 中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を 加えないでください。液晶破損や動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・本製品は故障診断コネクタ(OBD II コネクタ)を使用します。弊社製品を含むその他 OBD 機器とは 併用することができません。
 分岐等で併用すると製品や電装品の破損、車両故障の原因となります。
- ・本製品の近くでレーダー探知機やリモコンなどの GPS、無線電波を利用した装置を利用しないでください。
 電波の影響により、本製品が正常に動作しない場合があります。
- ・本製品には液晶ディスプレイを採用しております。装着場所や見る角度によって文字が見えにくくなることがありますが、液晶の特性によるもので異常ではございません。
 見えにくい場合には装着位置(角度)を変更してください。
 また、偏光サングラスを通して液晶を見ると、見る角度によって画面が暗くなったり歪んで見えることがありますのでご注意ください。
- ・車載ナビゲーションによっては、本製品を接続することで TV 映像が多少乱れる場合があります。
 本製品の異常ではありませんので、症状が発生した場合、本製品を使用しない時は車両の故障
 診断コネクタ(OBD Ⅱ コネクタ)より取り外してください。
- ・本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。60℃以上の高温に長時間さらしたり、
 急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊されることがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
 この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちることがあります。
- 本製品は純正 ECU 車両を前提に企画されております。
 純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、
 正常に動作しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
 弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
 必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・エンジンルーム内の作業を行う際は、エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。
 エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲が ノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。
 各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生や それに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。
- 本製品を車両に取り付けることで、マルチインフォメーションディスプレイで行う車両設定などの 項目の変更が行えなくなる車両があります。その場合は故障診断コネクタ(OBD II コネクタ)より、 本製品を取り外して、エンジンを再始動することで設定が可能となります。

パーツリスト

● 装着前に必ず不足品がないか必ずご確認ください。

● サイズはおおよその値を記載しております。予告なく仕様変更する場合があります。



スマートフォンアプリ



スマートフォンアプリは iPhone 専用です。 App Store よりダウンロードしてください。 詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。

動作環境:システムバージョン 15.5 以上



取り付け方法 - 取り付け位置

本製品は照度センサーと GPS を搭載していますので、ダッシュボード上への取り付けを推奨します。
 照度センサーは本体上部に遮蔽物があると、照度を正確に検知できない場合があります。
 GPS アンテナは上方向と前方向に遮蔽物があると衛星からの電波を正確に受信できない場合がありますので、取り付け位置には注意してください。



※ UV カットガラスや IR カットガラス、また一部車両のフロントガラスにおいて、ガラスの仕様によっては 衛星からの電波が遮断される可能性があり、GPS を受信できない場合や、通常よりも受信に 時間がかかる、測位した衛星数が少なく、GPS を使用する機能が正しく動作しない場合があります。

▲ 取り付け方法に伴う注意事項 ▲

- ・本製品は専用のステーを付属していますが、直接内装パネルへの貼り付けやセンターコンソールなどへ 取り付けることも可能です。その場合 GPS や照度センサーを使用する機能が正常に動作しない 場合がありますのでご注意ください。
- ・本製品は画面表示を縦向きや逆向きに切り替えることが可能です。その場合付属のステーで取り付けができない場合があります。また、照度センサーの感度が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

🗥 取り付け場所に伴う注意事項 🗥

- ・本製品をエアバッグの展開場所や、運転や視界の妨げになる場所には取り付けないでください。
- ・ナビゲーションモニター付近やナビゲーション用 GPS ユニット付近への本製品の取り付けや、 本製品の近くに他の GPS 機器や通信機能を持つ製品を設置すると、 GPS を正常に測位することができず、 誤作動を起こす可能性がありますのでご注意ください。
- 一部の運転支援システム装備車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。
 取り付け前に車両の取扱説明書をよくご確認ください。

取り付け方法 - 固定方法

- 下記手順にしたがって、Touch-B.R.A.I.N. PLUS 本体を車両に固定してください。
 - ①ステーに付属の両面テープまたは、粘着シートを貼り付けます。
 - Touch-B.R.A.I.N. PLUS 本体裏面のステー取り付け穴に 「カチッ」と音がするまでステーを挿しこんでください。



③ ダッシュボードをしっかりと脱脂し、Touch-B.R.A.I.N. PLUS を固定してください。 ※ ステーのジョイントが緩い場合はステー正面の調整ネジを左右均等に締めてください。



- ④ 次ページの接続方法を参考にハーネスを接続してください。
- ⑤本体を起動して、通信種別一覧から装着車両にあった通信方式を選択してください。
 本体を起動しても通信種別一覧が出ない場合は、基本設定の通信種別(P.27)を選択してください。
 ※通信種別は弊社ホームページ掲載の適合表をご確認ください。
 - ※ 適合表掲載の通信種別を選択して「Connection Failure !!」と出る場合は、 一度エンジンを停止して、本製品を再起動してから再度通信を選択してください。

🗥 粘着シートの注意事項 🗥

- 粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤で洗うと粘着力が戻り、
 再度使用することができます。
- 粘着シートは、ダッシュボードの場所や材質によっては貼付きにくく、
 不安定になり走行中脱落することがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。
- 粘着シートを長期間使用した場合、ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。
 あらかじめご了承ください。

▲ 取り付け場所に伴う注意事項 ▲

- ・本製品をエアバッグの展開場所や、運転や視界の妨げになる場所には取り付けないでください。
- ・ナビゲーションモニター付近やナビゲーション用 GPS ユニット付近への本製品の取り付けや、 本製品の近くに他の GPS 機器や通信機能を持つ製品を設置すると、 GPS を正常に測位することができず、 誤作動を起こす可能性がありますのでご注意ください。
- 一部の運転支援システム装備車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。
 取り付け前に車両の取扱説明書をよくご確認ください。

取り付け方法 - 接続方法

- 下記指示に従って、本体、OBD ハーネス、シガープラグを接続してください。
- DAMPER ZZ-R SpecDSC PLUS に接続することで、 OBD 通信より取得した車速信号を DSC PLUS に入力することで車速制御(ハイウェイ)モードを使用可能です。



※ 車両のシガーソケットを既に使用していて空きがない、または車両のシガーソケットが常時電源で ACC 電源や IG-ON 電源に連動していない場合は、同梱のシガープラグを加工し、 ACC または IG-ON 電源に 直接接続してください。接続は必ず専門の業者にて行うようお願いします。

配線色	接続先		ボナコニノドナ	
赤色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC /SpecDSC PLUS)		₩&X71 F3	е сцуу 9 б
橙色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC /SpecDSC PLUS)			
水色オス	シガープラグに接続			
水色メス	使用しません		₩於半能	口》力毕能
若草色メス	使用しません		所际状态	山沙水忠

<u>車両側 故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) 位置</u>



- ・OBD ハーネスの接続を行う際には、必ず車両のエンジンを停止状態(キー OFF)で行ってください。
- ・弊社製品を含む、本製品以外の OBD 製品とは併用することができません。
 車両側 OBD コネクタの又取りや配線加工を行うと、本製品は正常に動作しません。
 また、本製品およびその他電装品が破損する可能性がありますので絶対に行わないでください。
- ・車両をディーラーへ入庫される際は、本製品を故障診断コネクタ(OBD II コネクタ)から取り外し て入庫してください。ディーラーによっては故障診断コネクタ(OBD IIコネクタ)に社外製品が 接続されていることで入庫を断られる可能性があります。
- ・車両によっては本製品のOBDコネクタが車両側のOBDコネクタ周辺の内装と干渉し、しっかりと接続 できない場合があります。その際は車両側のOBDコネクタを内装パネルから取り外して接続してください。

画面説明 - メインメニュー

● それぞれのメニューアイコンをタッチすると、ポップアップメニューを表示、または各画面に切り替わります。



メニューアイコン範囲

DIGITAL (P.13)
 車両情報をデジタルメーターで表示します。
 項目表示数を「2連」「4連」「6連」「12連」の4種類から選択できます。
 ※ 縦画面の場合、レイアウトの都合上「2連」画面はありません。「4連」「6連」「12連」の3種類となります。



- NEEDLE (P.14)
 車両情報を1つのニードルメーターと4連のデジタルメーターで表示します。
 デザインは「TYPE-SILVER」「TYPE-RED」の2種類から選択できます。
- ・LAP 計測 / タイムトライアル (P.15 ~ 20)
 GPS 情報を使用した自動 LAP 計測やストップウォッチ機能によるタイムトライアルを行えます。



LOG (P.21 ~ 22)
 走行時の車両情報のログを本体メモリ、または USB メモリに記録します。
 項目表示数を「3 連」「6 連」の 2 種類から選択できます。
 ※ 縦画面の場合、レイアウトの都合上「3 連」画面はありません。「6 連」のみとなります。



本体設定 (P.27 ~ 35)
 本製品の各種設定の変更を行うメニューが表示されます。



COM (P.23)
 故障診断機能と SENSOR JUNCTION BOX の設定を行います。
 ※ 現在 SENSOR JUNCTION BOX は販売しておりません。
 以前販売していた SENSOR JUNCTION BOX をそのまま使用することが可能です。
 SENSOR JUNCTION BOX の接続方法、使用方法については、SENSOR JUNCTION BOX の
 取扱説明書を参照してください。



・ECO (P.24) 走行中の瞬間燃費や区間燃費、積算燃費、走行距離などを表示します。



VSC/TRC【86 (ZN6) / BRZ (ZC6) 専用機能】 (P.25 ~ 26)
 車両純正の VSC 及び TRC 制御を完全カットすることができます。

画面説明 - ショートカットメニュー・サブメニュー

- 各種画面の左下角のエリアをタッチすることで、ショートカットメニューが表示されます。
- 各種項目表示部分をタッチすることで、サブメニューが表示されます。



1 減光

タッチするごとに減光機能の「(オン)」「(オフ)」「(オート)」が切り替わります。 減光時の明るさについては基本設定のモニター設定(P.33)で調節することができます。

減光オート機能は本体内蔵の照度センサーで明るさを検知して、暗くなると自動的に減光します。 照度センサー(P.6)が塞がれる位置への取り付けを行っている場合には正常に機能しません。 また、減光するタイミングを変更したい場合は、基本設定のモニター設定にある減光感度(P.33)の 数値を変更してください。

② モニター

タッチすることでモニターをオフ(消灯状態)にすることができます。 再度モニターをタッチ(どこでも可)することでオン(点灯状態)になります。

③ 項目(回転)

装着車両が表示可能な項目を任意に選択できます。 表示可能な項目については適合表を参照してください。

④ ピークリセット

選択した項目のピーク値をリセットできます。

画面説明 - アイコン説明

- 各種画面の左上のホームボタンをタッチすることで、メインメニューに戻ります。
- 右上の矢印をタッチすることで DIGITAL や NEEDLE など、 合計 12 画面を順番に切り替えることができます。
 ※ 縦画面の場合は合計 10 画面となります。



① ホームボタン

タッチするとメインメニュー画面に戻ります。

② 無線 LAN アイコン

スマートフォンと Touch-B,R,A,I,N, PLUS を無線 LAN で接続している時に無線 LAN アイコンが点灯します。

- ▼ 衛星を測位することで、 使用できる機能
- スマートフォンアプリを使用してのデータログの取得・ドライブログ作成

③ GPS アイコン

Touch-B,R,A,I,N, PLUS に内蔵した GPS センサーの GPS 情報を受信状況を表示します。 衛星の測位には装着位置や車両のガラスの仕様などで前後しますが、最大で 10 分程度かかります。 トンネル内など GPS を全く受信できない場合、 GPS アイコンは消灯状態、 GPS 受信中は GPS アイコンが点滅状態となり、 GPS 情報を受信できると GPS アイコンは点灯状態となります。 GPS が正しく受信できていないと、 GPS 情報を使用する機能は正常に動作しません。

- ▼ 衛星を測位することで、 使用できる機能
 - ●「衛星数」、「高度」、「時計」の項目の表示
 - LAP 計計測機能(P.15)

④ クイック切り替えボタン

切替ボタンを押すことで「DIGITAL(2・4・6・12 連)」「NEEDLE(TYPE-SILVER・TYPE-RED)」 「LOG(3・6 連)」「ECO(リアルタイム・積算結果)」「LAP」「TRIAL」の画面を メインメニュー画面に戻ることなく切り替えることが可能です。 ※ 縦画面の場合、「DIGITAL 2 連」と「LOG 3 連」画面はありません。 画面説明 - DIGITAL



DIGITAL

各表示項目を2、4、6、12連のデジタルメーターで表示することができます。 ※ 縦画面の場合、レイアウトの都合上 2 連画面がありません。



\land 注意 \land

デジタル 12 連画面の場合、項目表示のスペースの都合上、一定以上の桁数の表示ができません。 桁数が一定以上になった場合、小数点以下の切り捨てや表示可能最大値で固定する表示となります。 例:走行距離が 10000km 以上となった場合、表示は 9999km までとなります。

画面説明 - NEEDLE



NEEDLE

- 各表示項目を中央のニードルメーターと4つのデジタルメーターで表示します。
- 画面デザインは「TYPE-SILVER」「TYPE-RED」の2種類から選ぶことができます。
- ニードルメーターに時計を表示することが可能です。 GPS を測位すると現在時間を表示できます。
- ※ ニードルメーターのみ基本単位を「USA」単位表示に、馬力単位を「KW」単位表示に変更しても、 表示がそれぞれ「SI」「PS」となります。
- ※ ニードルメーターのスケールは変更できません。
- ※ ニードルで表現が難しい一部の項目はニードルメーターには表示できません。



TYPE-SILVER 横画面

項目変更選択エリア (P.11)

> TYPE-RED 横画面



画面説明 - LAP 計測



LAP 計測

- ストップウォッチ機能により LAP タイムの計測ができます(最大 100LAP)。
- ●本体内蔵の GPS センサーにより、スタート地点を登録することで、サーキットなどでの LAP タイムを オートで計測することが可能となります。また、ファステストタイム / スプリットタイムを表示できます。
- 各表示項目をデジタルで3項目表示可能です。

スタート / ストップボタン

- ・ボタンが「AUTO」の場合
 タッチした後、GPS センサーにより計算した車速値が任意に設定した車速に達すると自動的に計測をスタートします。
 ※ コースが Empty の状態では計測スタートができません。必ずコースデータが入ったコースを選択してください。
- ・ボタンが「MANUAL」の場合
 タッチした直後から計測がスタートします。
- ・ストップ方法 ストップボタンをタッチするか、計測ストップをオートに設定している場合は、 GPS センサーにより計算した車速値が任意に設定した車速になると自動的に計測をストップします。



画面説明 - LAP 計測

LAP 計測

888



1 スプリットタイム、ファステストタイム

タッチするごとに「スプリットタイム」と「ファステストタイム」の表示が切り替わります。

コース選択

LAP 計測を行うコースを選択します。 工場出荷状態では下記 5 か所のサーキットが予め登録されていますので、 該当コースはコース登録の必要がなく、コース選択するだけで LAP 計測が行えます。 下記サーキット以外の場合は計測前にコース登録が必要となります。

- ・富士スピードウェイ レーシングコース
- ・ 鈴鹿サーキット レーシングコース
- ・モビリティリゾートもてぎ ロードコース / オーバルコース
- ・筑波サーキット コース 2000

コース名設定

登録するコース名を設定します。 (最大 16 文字)







④ スタート設定

自動で LAP 計測を行うためのスタート地点(計測地点)の設定を行います。 「手動入力」「GPS 取得」「GPS AUTO」の3つの方法でスタート地点の登録を行うことができます。 内側、外側はスタートラインの内側、外側を意味します。 全ての緯度経度が入力され、そのスタートラインを通過することで、自動で周回をカウントすることが 可能となります。

\land 注意 \land

- ・1~5に工場出荷時に登録されいてるコースデータを編集して、別のコースデータを上書きで登録する ことは可能ですが、本体のオールリセットを行うと、工場出荷時の登録コースデータにリセットされます。
- ・6 ~ 10の「Empty」にスタート設定で登録されたコースデータについては、本体のオールリセットを 行っても消えることなく保存されます。コースデータを消す場合はクリア機能を使用して手動で 消してください。

【手動入力】

市販の GPS 計測器などを使用してサーキットのコントロールラインの内側、外側の緯度経度を取得し、 それぞれの数値を「手動入力」で直接入力することで、スタート地点の登録が可能です。



※ 地図アプリなどから取得できる GPS の緯度経度情報を入力して LAP 計測を行うことも可能ですが、 地形図や航空写真、緯度経度の情報にはズレがある場合があり、 LAP の計測を正しく行えない場合があります。 本計測前にテスト走行を行ってから本計測を行うことをおすすめします。 画面説明 - LAP 計測



【GPS 取得】

登録画面の内側緯度を選択状態にし、コントロールラインのコース内側を通過時に【GPS 取得】を タッチすると内側の緯度経度が入力されます。

外側も同様の操作を行うことで、スタート地点の登録が完了となります。



- ※本機能を使用して登録を行う場合、本製品が GPS を正しく受信できている必要があります。 エンジン始動直後や、建物の影から出てすぐの場合は正しく受信できていない場合があるため、 しばらくしてから登録操作を行うことをおすすめします。 また、コントロールライン周辺に建物や樹木がある場合、正しく登録できない場合があります。 この場合は、直線区間であれば、任意の場所で登録することが可能です。
- ※本機能を使用して走行しながらの登録を行う場合は、周囲の状況をよく確認し、無理のない範囲で 行ってください。
- ※本機能を使用して登録を行う場合、例えばコース外側を大幅に通過した地点で登録、コース内側を コントロールラインのかなり手前で登録してしまい、コントロールラインより内側、外側で大幅に ズレが生じてしまった場合、LAPの計測は可能ですが、計測したタイムの誤差が大きくなる 場合がありますので、登録をやり直すことをおすすめします。
- ※ 曇りや雨、雪と言った天候が悪い場合、GPS の受信が安定しない場合があります。 その場合、スタート地点の登録や LAP の計測が正常に行え場合がありますので、 予めご了承ください。

画面説明 - LAP 計測



LAP 計測

[GPS AUTO]

コントロールラインのコース中央を通過時に【GPS AUTO】をタッチすると内側、外側の緯度経度の 全てが自動で入力され、1回の操作でスタート地点の登録が完了となります。



※本機能を使用して登録を行う場合、本製品が GPS を正しく受信できている必要があります。 エンジン始動直後や、建物の影から出てすぐの場合は正しく受信できていない場合があるため、 しばらくしてから登録操作を行うことをおすすめします。 また、コントロールライン周辺に建物や樹木がある場合、正しく登録できない場合があります。 この場合は、直線区間であれば、任意の場所で登録することが可能です。

- ※本機能を使用して走行しながらの登録を行う場合は、周囲の状況をよく確認し、無理のない範囲で 行ってください。
- ※本機能を使用して登録を行う場合、コントロールライン中央ではなく、どちらかに寄ったり、 コース上を蛇行した状態で操作して登録した場合、正常に LAP 計測ができない場合があります。 また、ミニサーキットなどの場合も正確に計測ができない場合があります。 その場合は、「GPS 取得」機能でスタート地点の登録を行ってください。
- ※ 曇りや雨、雪と言った天候が悪い場合、GPS の受信が安定しない場合があります。 その場合、スタート地点の登録や LAP の計測が正常に行え場合がありますので、 予めご了承ください。

\land 注意 \land

本製品の LAP 計測機能はサーキット以外でも、クローズドで周回が可能なコースやスタートとゴールが 同一地点のコースであれば、ジムカーナなどの競技でもタイムの計測が可能な機能です。 ただし、競技専用機能ですので、一般道などの公道では絶対に使用しないでください。 画面説明 - タイムトライアル

タイムトライアル

- ストップウォッチ機能により 0-100km/h や 0-400m などのタイム計測ができます。
- ●車速、距離の入力を元にオートスタート、オートストップの計測が可能です。
- ●本体内蔵のGセンサーにより車両にかかるGをGセンサーモニターに表示します。
- 各表示項目をデジタルで3項目表示可能です。



※ 長押しで TIME 履歴が リセットされます

IME 腹腔 ※ ベストタイムの上位 3 つが 表示されます。

- ※本製品の取り付け角度の変更や表示方向を変更した際には、本体の再起動、または G の初期化を 行ってください。また、計測中に G センサーのゼロ点が多少ズレる場合がありますので、 計測毎に G の初期化を行うことをおすすめします。
- ※ 本製品が車両の進行方向に対して斜めに取り付けられている場合、G センサーモニターの表示が 斜めに動く場合があります。



画面説明 - LOG

LOG

- 各種項目を3 連または6連のグラフ付デジタルメーターで表示します。
 ※ 縦画面の場合、レイアウトの都合上3連画面がありません。
- DIGITAL12 連で表示選択している 12 個の項目がログとして記録されます。
- 記録中に別の画面に移動しても記録は続けられます。停止ボタンを押すと、記録を停止し保存できます。



LOG

<u>ログ画面専用 ショートカットメニュー</u>

① サンプリング

データの保存周期を【20ms】【50ms】【100ms】の3種類から変更できます。 ※計測項目や通信種別などの条件により計測可能時間が変動します。

2 本体ログ

本機内に保存されているデータを再生、または USB メモリにコピーすることができます。 本機内に保存可能なログデータは 1 つのみで、新規保存ごとに上書きされます。

3 表示ログ

現在表示中のデータを本機内、または USB メモリに保存することができます。 表示可能なログデータは1つのみで、電源 OFF または新規記録ごとに上書きされます。

④ モバイルログ

スマホ用アプリを使用して記録したデータを再生、または USB メモリにコピーすることができます。

⑤ USB から読込み

USB メモリ内の保存データを再生します。

※本製品で使用可能な USB メモリ、およびその注意事項については(P.36)を参照してください。

<u>ログデータの保存</u>

 ●記録停止ボタンをタッチした時に、USBメモリが接続されていると、この時点でUSBメモリ側に 直接ログデータを保存することが可能です。
 USBメモリ直接ログデータを保存する場合、任意のファイル名でデータを作成することが可能です。
 ※本体保存および本体からフラッシュメモリーへのデータのコピーではファイル名は指定できません。



画面説明 - 故障診断



故障診断

- 車両に記録されているトラブルコード(エラーコード・ダイアグコード)の読取り、消去を行うことができます。
 ※ 読取りが可能なトラブルコードはエンジン ECU に記録されいてる内容のみとなります。
 - 全てのトラブルコードに対応しているわけではありません。読取りできないコードや消去できないコードがあります。 自動車メーカーや車種、通信種別によっては、故障診断機能に対応していない場合もあります。



診断開始ボタン ※ 押すとポップアップが表示されます ※ 故障診断は IG-ON で行ってください

トラブルコードが検出されると表示 ※ コードがない場合は表示されません

ポップアップメッセージ	内容
DTC SUCCESS	故障診断項目読み込み成功
DTC SUCCESS NUM ONLY	故障診断数読み込み成功
DTC NOT CONNECTED	通信不可
DTC NOT IMPLEMENTED	故障診断機能非対応(ハードウェア非対応)
DTC NOT SUPPORTED	故障診断機能非対応(ソフトウェア非対応)
DTC CONDITION NOT CORRECT	車両状態が不適切(通信不可)
DTC TIMEOUT	タイムアウトエラー(故障診断機能非対応)
DTC ERROR GENERAL	その他のエラー(故障診断機能非対応)

1 トラブルコード

現在エンジン ECU が記録されているトラブルコード(エラーコード)を表示します。

2 ペンディングコード

エンジン ECU が記録しているペンディングコード(保留コード)を表示します。 ※ペンディングコードとはまだ故障と確定していない、現在判定中となっているエラーの内容です。

③ 消去

現在エンジン ECU に記録されているエラーコード、ペンディングコードを消去します。

⚠ 警告 ⚠

本機能は、主に ISO 規格で定められているトラブルコードの読取り、消去を簡易的に行える機能です。 本製品を自動車用故障診断機として使用することはできません。 また、本機能の車種別適合情報や診断内容に関するお問い合わせについては、 弊社では一切お答えできませんのでご了承ください。

画面説明 - ECO



- 車両の燃費データを計算し、各種燃費データを表示します。
- ●「距離(走行距離)」「瞬間燃費」「平均燃費」「積算燃費」「区間燃費」「消費燃料」「燃料代」を 表示可能です。(車種により表示できない項目があります。詳しくは適合表をご確認ください。)
- ●リアルタイム燃費画面はエンジンをかける度に、燃費情報がリセットされます。

1トリップの燃費情報を表示する画面です。

● 燃費データ画面は燃費表示リセットを行うまでのトータル燃費を表示します。
 給油毎に燃費設定(P.32)を行い、燃費表示リセット(P.35)を行うことで、より誤差の少ない車両燃費を表示することが可能です。



リアルタイム燃費画面

燃費データ画面



項目名(日本語)	項目名(英語)	表示内容		
距離	TRIP	走行距離		
瞬間燃費	F-INST	走行中の瞬間燃費		
瞬間燃費 2	F-INST2	走行中の瞬間燃費(ISO CAN 通信用)		
平均燃費	F-AVE	エンジン始動後、走行開始からエンジン停止までの燃費の平均値		
積算燃費	F-TOTAL	リセットを行ってから、次のリセットまでの燃費の平均値		
区間燃費 F-SECT		車両が動き出してから、停止までの一区間あたりの燃費		
消費燃料 EXPEND		燃料の消費量合計		
燃料代	COST	設定したガソリン単価から算出される燃料代金		

※瞬間燃費2に関してはエンジン効率を元に燃費を算出しているため必ず燃費補正を行ってください。

※ 燃費が表示できない車両では、「距離」の項目のみの表示となります。

※ ISO CAN 通信の車両で「瞬間燃費 2」が表示できる車両であっても、「平均燃費」「積算燃費」「区間燃費」 「消費燃料」「燃料代」は表示できません。 画面説明 - VSC/TRC【86 (ZN6) / BRZ (ZC6) 専用機能】



VSC/TRC

● 本機能はトヨタ 86 (ZN6)、スバル BRZ (ZC6)の専用機能です。その他の車両では動作しません。

●本機能は純正で装備されている VSC/TRC 機能を完全にカットすることができます。 純正の VSC SPORTS モードや TRC OFF モードなどでは、制御が若干残り横滑り抑制機能やタイヤの 空転抑制機能が完全にカットすることができません。 しかし、本機能を使用することで、VSC/TRC の制御を完全にカットすることが可能です。

※ 本機能を使用する際は次ページの『VSC/TRC 完全カット機能の動作条件と注意事項』を 必ずよくお読みください。



純正状態

ON スイッチをタッチすると 純正状態になります。

OFF スイッチをタッチすると VSC/TRC 完全カット状態になります。



VSC/TRC 完全カット状態

▲ 警告 ▲ 本機能は、車の安全機能である VSC (横滑り抑制機能)と TRC (タイヤの空転抑制機能)を 作動させなくする機能です。 VSC/TRC 完全カット機能についてしっかりとご理解いただいた上で 適切な場面でご使用ください。 公道走行時には本機能は使用せず、必ず VSC/TRC 機能が作動する状態で走行してください。 画面説明 - VSC/TRC【86 (ZN6) / BRZ (ZC6) 専用機能】



VSC/TRC

<u>VSC/TRC の動作条件と注意事項</u>

- 走行中、VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行っても、車両側が制御信号を受け付けず、 エラー状態となります。必ず停車状態で操作してください。
- VSC/TRC 完全カット機能は、画面のタッチ操作に対し車両側の応答までにタイムラグが発生します。
 これは車両との通信のタイミングによるものであり、本製品の故障ではありません。
 タッチ操作を行う間隔は5秒以上開け、行ってください。
 ※短時間で画面タッチ操作を繰り返すと故障の原因となります。ご注意ください。
- VSC/TRC 完全カット機能を使用する場合、車両に装着されている純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチは一切使用しないで下さい。純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチを使用するとVSC/TRC 完全カット機能が動作しません。 仮に純正のスイッチを操作してしまった場合はエンジンを再始動してください。
- VSC/TRC 完全カット機能は、エンジン水温が低い状態やファーストアイドル時には動作しない場合があります。
 これは車両側が本製品からの制御信号を受け付けないよう制御されているためであり、
 本製品の故障ではありません。
- ●本製品の VSC/TRC 完全カット機能は、エンジン停止時の制御状態を記憶しています。 したがって、VSC/TRC 完全カット状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動する際も VSC/TRC 完全カット状態となります。

但し、エンジン再始動時に水温が低下している場合、VSC/TRC 完全カット状態でエンジンを停止 したにも関わらず、再始動で純正状態に戻る場合があります。 この場合はエンジン暖気後、再度本製品の VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行い、 VSC/TRC 完全カット機能を実行してください。

※ まれに水温が高い状態でも、純正状態に戻る場合があります。この場合も同様に VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行い、 VSC/TRC 完全カット機能を実行してください。

- VSC/TRC 完全カット機能は、車両のコンビネーションメーター内にある「VSC OFF」表示灯と「TRC OFF」表示灯に連動しています。本製品で VSC/TRC 完全カット機能を実行すると「VSC OFF」表示灯と「TRC OFF」表示灯の両方が点灯します。うまく信号のやり取りができなかった場合、メーター内の表示灯は点灯しません。 完全カット機能が動作しているかどうかについては、車両のコンビネーションメーターと本製品の VSC/TRC 画面の中央部に、「VSC OFF」「TRC OFF」表示灯がそれぞれ点灯していることをご確認ください。
 - ※ 純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチは一切使用しないで下さい。 使用するとVSC/TRC 完全カット機能が動作しません。 仮に純正のスイッチを操作してしまった場合はエンジンを再始動してください。

車両側 VSC/TRC モニター 完全カット状態





1 言語(日本語)

タッチするごとに言語の「言語(日本語)」「Language(ENG)」が切り替わります。

2 通信種別

通信種別一覧を開きます。 装着車両に対応する通信種別は、弊社ホームページ掲載の本製品の適合表をご確認ください。





タッチするごとに警告音の「(オン)」「(オフ)」が切り替わります。 ④ ワーニングで設定した警告音を一括でオン / オフすることができます。 ※ 操作音をオフにしている場合は警告音もオフになります。



タッチブレインの現在のバージョンを表示しています。



無線 LAN (オン)

タッチするごとに無線 LAN の「(オン)」「(オフ)」が切り替わります。

2 パスワード設定

パスワードの入力画面が開き、 無線 LAN パスワードの変更が行えます。 任意のパスワードに変更してください。 (8 ~ 16 文字)

※ 工場出荷時のパスワードは「BLITZ1980」となっています。

※ 無線 LAN 機能を使用する場合は必ず無線 LAN パスワードを変更して使用してください。 ※ パスワードは 8 文字以下に設定することができません。 8 文字以上で設定してください。



\land 注意 \land

本製品とスマートフォンを無線 LAN 接続すると、スマートフォンはその他のアクセスポイントには接続 できません。その場合、4G/5G に接続されている状態でも、インターネットに接続ができない状態と なります。インターネットへの接続が必要な場合にはスマートフォンの無線 LAN 設定、もしくは本製品の 無線 LAN 設定を OFF にするか、インターネットに接続が可能なアクセスポイントに接続を変更してください。



① 車両重量(1000KG)

取り付けた車両の実車両重量を入力してください。 本設定はパワー項目の表示の算出に使用します。 設定値が実際よりも少ないとパワーの数値が小さく、多いと数値が大きく表示されます。

2 排気量(2000cc)

取り付け車両の排気量を入力してください。 本設定は吸入空気量%項目の表示の算出に使用します。

③ ロス (0%)

パワー項目の表示にズレがある場合にロスを入力してください。 通常は「0%」のまま使用してください。 ロス数値を大きくするとパワーの数値が大きくなり、ロスを小さくするとパワーが小さくなるよう 補正をかけることができます。

数值入力方法





変速機タイプ

T

タッチするごとに変速機タイプが「(AT)」「(MT)」と切り替わります。 装着車両の変速機に合わせて設定してください。

2 ロックアップ (**km/h)

ロックアップ機構搭載車は、ロックアップ時の車速を設定することで、ロックアップ状態を表示可能です。 D レンジ 2500rpm 一定で走行した際に、一瞬回転数が落ち込んだときの車速を入力してください。

※ ロックアップとはエンジンと変速機の回転軸を直結状態にすることにより、 燃費向上を図る機能で、 主にアクセル開度が少ない状態で高速走行中に作動します。

※ ロックアップ機構搭載車でもロックアップ状態を正しく表示できない車両もあります。

※ 装着車両がロックアップ機構搭載車かどうかは、自動車ディーラーにお問い合わせください。

③ ギヤ#

装着車両のトランスミッションのギヤ数を選択してください。

④ ギヤ1~10

それぞれのギヤにおいて、2500rpm 一定で走行した時の車速の項目の数値を入力してください。 数回計測を行い、その平均値を入力してください。

⚠ 注意 ⚠

- ・CVT 車は変速機の構造上、無段階変速となりますので、ギヤ数を表示できません。
- ・MT 車ではシフトチェンジに時間がかかった場合などに、一時的に異なるギヤを表示する場合があります。 また、AT 車ではトルクコンバーターの影響によりアクセル OFF 時に、一時的に異なるギヤを表示する 場合がありますが、故障ではありません。
- ・運転者は走行中に本設定を行わないでください。また、一般公道での計測は行わないでください。
 サーキット走行やシャーシダイナモなどの計測器を使用して計測してください。



ガソリン単価

2

本設定は燃料代項目の表示の算出に使用します。

※本製品の燃料代項目の表示機能は給油後、次の給油までの間にガソリン単価を変更した場合、 単価変更前に算出した燃料代に、単価変更後に算出した燃料代を加算する方式を採用しています。

設定画面 - モニター設定



① 表示数値色 ピーク値色

各項目の表示数値、ピーク値の文字色を変更することができます。 「赤」「青」「黄」「緑」「紫」「白」「橙」「桃」「灰」「水」の中から選ぶことができます。

2 操作音

タッチするごとに操作音の「(オン)」「(オフ)」が切り替わります。

3 操作音量

タッチしたときの操作音を任意の大きさに調節できます。

④ バックライト

減光

通常時のバックライトの明るさと減光時の明るさを任意の明るさに設定できます。 減光機能のオン / オフ / オートの切り替えはショートカットメニューにて行うことができます。(P.11)

⑤ 减光感度

減光機能を AUTO 設定にした場合の、照度センサーの感度の設定を行います。 数字を小さくすると照度が大きく変化しないと減光 ON 状態に切り替わらなくなります。 数字を大きくすると照度が少しの変化で減光 ON 状態に切り替わります。

6 表示方向

タッチするごとに画面表示を「(左)」「(縦)」「(右)」と切り替わります。



設定画面 - タイムゾーン設定



① タイムゾーン設定

時計項目の現在時刻のタイムゾーンを設定します。 本製品を使用する国の設定値に合わせてください。

- ※初期値は日本(00)に合わせていますので、本製品を日本国内で使用する場合、 設定を変更する必要はありません。
- ※ 設定画面の表示は一桁になっていますが、下記設定値の数字に合わせると反映されます。

設定値	時差	国・地域
00	UTC+9	日本 ・ インドネシア東部 ・ 韓国
01	UTC+8	台湾 ・ 中国(香港・マカオ) ・ シンガポール ・ マレーシア ・ インドネシア中部 ・ オーストラリア西部
02	UTC+7	タイ ・ ベトナム ・ インドネシア西部
03	UTC	イギリス・ ポルトガル
04	UTC+10	オーストラリア東部
05	UTC-5	アメリカ東部 ・ カナダ東部 ・ エクアドル ・ キューバ
06	UTC-6	アメリカ中部 ・ カナダ中部 ・ コスタリカ
07	UTC-8	アメリカ西部 ・ カナダ西部
08	UTC+1	イタリア ・ オランダ ・ スイス ・ スペイン ・ ドイツ ・ フランス
09	UTC-3	アルゼンチン・チリ・ブラジル



燃費表示リセット

距離、平均燃費、積算燃費、燃料消費量、燃料代の各項目の表示数値がリセットされます。 距離補正や燃料補正で補正した学習値はリセットされずに残ります。

2 燃費オールリセット

距離、平均燃費、積算燃費、燃料消費量、燃料代の各項目の表示数値および、 距離補正、燃料補正で補正した学習値の全てがリセットされます。

③ ピークリセット

全ての項目のピーク値が一括でリセットされます。 項目ごとに個別にピーク値をリセットする場合は、デジタルやニードルの画面で各表示項目を選択し、 リセットを行ってください。

④ オールリセット

全ての保存データ、設定項目を初期化し、工場出荷状態に戻ります。

- ※ LAP 計測のサーキット登録データはリセットされません。
- ※オールリセット後、通信種別を選択しても「Connection Failure !!」と出る場合があります。 その場合は、一度エンジンを停止して、本製品を再起動してから再度通信を選択してください。

⑤ 法規証明書

本製品に搭載している無線 LAN モジュールの技術基準適合証明を表示します。

⑥ デモモード

タッチするごとにデモモードの「デモ1」「デモ2」「オフ」が切り替わります。 本機能は商品展示用機能です。 表示される項目や数値、動作については実際と異なる場合があります。

USB メモリの使用について

- LOG 機能で取得したログデータを USB メモリに保存することが可能です。 ※ 本製品で取得したログデータは専用のフォーマットで保存されていますので、専用のソフトでしか開くことができません。
- USB メモリ経由で Touch-B.R.A.I.N. PLUS 本体のバージョンアップを行うことができます。

			l		フォーマット - USB ドライブ (H:)	×
動作推奨 USB メモリー					帝 号(1).	
USB コネクタ形状 USB Micro B 端子					谷重(户):	
USB 規格	USB	2.0、USB3.0			28.6 GB	~
容量	2~	32GB			ファイル システム(<u>F</u>)	
					FAT32 (既定)	~
フォーマット仕様					アロケーション ユニット サイズ(<u>A</u>)	
ファイルシステム		FAT32			16 キロバイト	~
アロケーションユニットサイ	イズ	Windows 規定値 (容量により異なり	ります。)		デバイスの既定値を復元する(<u>D</u>)	
※ USB メモリを使用するf	fiに必	ずフォーマットを行	ってください。	,	ボリューム ラベル(L) フォーマット オプション(Q) ビ クイック フォーマット(Q) 開始(S)	閉じる(<u>C</u>)

◆ USB Micro B 端子対応の USB メモリがない場合

OTG 対応の USB A - USB Micro B 端子変換コネクタを使用して接続することで、 一般的な USB A 端子の USB メモリが使用可能です。



⚠ 警告 ⚠

- ・USBメモリには向きがあります。 誤った向きで挿入すると本製品および、USBメモリが破損する恐れが ありますので、十分にご注意ください。
- ・本製品の USB ポートでは電源の供給はできません。USB メモリ以外の USB 機器を接続すると
 本製品や USB 機器が破損する可能性があるため、絶対に接続しないでください。

⚠ 注意 ⚠

- ・本製品で使用する USB メモリには、本製品で使用するデータファイル以外のデータを保存しないで ください。本製品が正常に動作しない場合や USB メモリ内のデータが破損する場合があります。
- ・弊社では本製品で使用できる USB メモリの適合は確認は行っておりません。
 お手持ちの USB メモリが使用可能かどうかの質問にはお答えできません。
 また、動作可能容量範囲であっても、本製品で認識せず、正常に動作しない場合もありますので、
 あらかじめご了承ください。

本体バージョンアップについて

◆ 本体 Ver の確認方法



◆ USB メモリを使用してのバージョンアップ手順

弊社ホームページの専用ページより最新のバージョンアッププログラムをダウンロードしてください。
 ※バージョンアッププログラムのダウンロードにはカスタマー登録が必要です。(P.44)
 ※最新のバージョンについては、弊社ホームページをご確認ください。
 ※ Touch-B.R.A.I.N. PLUS 本体と Web ページのバージョンが同じ場合はバージョンアップの必要はありません。

- ② ダウンロードした圧縮ファイル内の2つのファイルをお手持ちのUSBメモリに保存してください。
 ※ 本製品で使用可能なUSBメモリおよびその注意事項については(P.36)を参照してください。
 ※ ファイルの数はバージョンアップの内容により異なる場合があります。
- ③ Touch-B.R.A.I.N. PLUS の電源 OFF (エンジン停止) 状態で、 USB メモリを本体に挿し込んでください。
- ④ Touch-B.R.A.I.N. PLUS の電源 ON (エンジン始動) することで、 自動的にバージョンアップが開始されます。
- ⑤ バージョンアップが完了すると、 下図右のような画面になりますので、 USB メモリを抜いてください。 自動的に再起動し、メインメニュー画面に移行します。
- ⑥オールリセットを行い、本体バージョンが最新のバージョンになっているかを確認してください。

<pre>@BOOT build=*** (xxx x xxxx xx:xx:xx)</pre>	@BOOT build=*** (xxx x xxxx xx:xx:xx)
>Update1 ***/*** Block ChecksumOK >Update2 ****/**** page	>Update1 ***/*** Block ChecksumOK >Update2 ****/**** page ChecksumOK >Success
	*Please remove the usb memory.
バージョンアップ中	バージョンアップ完了

※ 画面は一例です。 バージョンアップの内容によっては表示が異なる場合があります。

⚠ 注意 ⚠
 ・本体のバージョンアップ中に故障診断コネクタ(OBD II コネクタ)を抜くなど、Touch-B.R.A.I.N. PLUS の 電源は絶対に切らないでください。プログラムが破損し、動作しなくなる可能性があります。 ・USB メモリを使用してバージョンアップを行う場合は、バージョンアッププログラム以外のデータを USB メモリに保存しないでください。バージョンアップが正常に行えない場合があります。

◆ 表示項目一覧

項目名		単位		
日本語	英語	SI	USA	衣小内谷
回転数	ТАСНО	rpm	rpm	エンジン回転数
車速	SPEED	km/h	MPH	車両の実速度
点火時期	IGN-T	deg	deg	BTDCで表す点火時期
スロットル	THROT	% (V)	% (V)	スロットルバルブの開度比率
水温	WATER-T	°C	°F	エンジン冷却水温度
吸気温	INTAK-T	°C	°F	吸入空気温度
外気温	OUT-T	°C	°F	外気温センサーの換算値
油温	OIL-T	°C	°F	エンジンオイル温度
排気温	EX-T	°C	°F	排気温度警告灯信号
燃料温度	FUEL-T	°C	°F	燃料温度
インマニ圧	INT-P	×100kPa	PSI	インテークマニホールド圧
ブースト圧	BOOST	×100kPa	PSI	インテークマニホールド圧
燃圧	FUEL-P	×100kPa	PSI	燃料圧力
エンジン負荷	E-LOAD	%	%	エンジン負荷率
エアフロ1	AIR-F1	V (%)	V (%)	エアフロセンサー電圧1
エアフロ2	AIR-F2	V (%)	V (%)	エアフロセンサー電圧2
エアフロ	AIR-F	Hz	Hz	カルマン渦式エアフロセンサーの計測値
ソレノイド1	SOL1	%	%	過給圧制御用ソレノイドバルブの開弁率
ソレノイド2	SOL2	%	%	過給圧制御用ソレノイドバルブ2の開弁率
空気量	MAF	g/s	g/s	エアフロセンサーで計測された吸入空気量
空気量%	MAF%	%	%	1気筒あたりの充填効率を排気量から換算した割合
INJ1	INJ1	ms	ms	1気筒あたりのインジェクター1のトータル噴射時間
INJ1%	INJ1%	%	%	インジェクター1の噴射時間の比率
INJ2	INJ2	ms	ms	1気筒あたりのインジェクター2のトータル噴射時間
INJ2%	INJ2%	%	%	インジェクター1の噴射時間の比率
A/F制御1	A/F-CN1	-	_	空燃比フィードバック制御状況1
A/F制御2	A/F-CN2	-	_	空燃比フィードバック制御状況2
A/F1	A/F1	-	-	O2センサーで計測された実空燃比1
A/F2	A/F2	-	_	O2センサーで計測された実空燃比2
A/F補1	A/F CV1	%	%	O2センサー値をもとに、 理論空燃比に近づけるための制御状況1
A/F補R	A/F CVR	%	%	O2センサー値をもとに、 理論空燃比に近づけるための制御状況R
A/F補2	A/F CV2	%	%	02センサー値をもとに、 理論空燃比に近づけるための制御状況2
A/F学1	A/F-L1	%	%	「A/F補1」より算出した総合的な補正率
A/F学2	A/F-L2	%	%	「A/F補2」より算出した総合的な補正率

※装着車両の表示可能な項目については適合表をご確認ください。

◆ 表示項目一覧

項目名		単位		二 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
日本語	英語	SI	USA		
02	02	V	V	空燃比フィードバック用O2センサー(第一触媒後)の電圧値	
02-R	02-R	V	V	O2 Rセンサー電圧	
02-2	02-2	V	V	O2 2センサー電圧	
バッテリー	BATT	V	V	車両のバッテリー電圧	
ギヤ	GEAR	-	-	現在のギャポジション	
パワー	POWER	PS	PS	加速中の馬力(カタログスペックとは異なる場合があります)	
トルク	TORQUE	Nm	Nm	トルク値(カタログスペックとは異なる場合があります)	
距離	TRIP	km	mile	走行距離(リセットを行うまで積算します)	
瞬間燃費	F-INST	km/L	MPG	走行中の瞬間燃費	
瞬間燃費2	F-INST2	km/L	MPG	走行中の瞬間燃費(ISO CAN通信用)	
平均燃費	F-AVE	km/L	MPG	エンジン始動後、走行開始からエンジン停止までの 燃費の平均値(エンジン停止毎にリセット)	
積算燃費	F-TOTAL	km/L	MPG	リセットを行ってから、次のリセットまでの 燃費の平均値(リセットを行うまで積算します)	
区間燃費	F-SECT	km/L	MPG	車両が動き出してから、停止までの 一区間あたりの燃費(停車時に表示が更新されます)	
消費燃料	F-CONSUM	L	gal	燃料のトータル消費量(リセットを行うまで積算します)	
燃料代金	F-COST	yen	doll	設定したガソリン単価から算出される 燃料代金(リセットを行うまで積算します)	
4WD	4WD	%	%	4WDの駆動力配分比率	
車速FR	SPD FR	km/h	MPH	右フロントの車輪速度	
車速FL	SPD FL	km/h	MPH	をフロントの車輪速度	
車速RR	SPD RR	km/h	MPH	右リアの車輪速度	
車速RL	SPD RL	km/h	MPH	左リアの車輪速度	
高度	ALTI	m	m	GPSセンサーで取得した高度	
衛星数	SAT	-	-	衛星の受信数	
操舵角	ST-ANG	o	°	ステアリングホイール操舵角度、最大-99~360° (左回転でプラス、右回転でマイナス)	
旋回G+	LR-G+	m∕s2	m∕s 2	車両の横方向にかかるG、 左旋回側ピーク(右旋回でプラス、左旋回でマイナス)	
加減速G+	FR-G+	m∕s2	m∕s2	車両の前後方向にかかるG、 加速側ピーク(加速時にプラス、減速時にマイナス)	
旋回G-	LR-G-	m∕s 2	m∕s 2	車両の横方向にかかるG、 右旋回側ピーク(右旋回でプラス、左旋回でマイナス)	
加減速G−	FR-G-	m∕s2	m∕s2	車両の前後方向にかかるG、 減速側ピーク(加速時にプラス、減速時にマイナス)	
ヨーレート	Y-RATE	°/s	°/s	車両重心の鉛直方向における回転角速度 (右旋回でプラス、左旋回でマイナス)	
時計	Clock			GPSセンサーで取得した現在時刻(ニードル画面のみ表示)	

※装着車両の表示可能な項目については適合表をご確認ください。

※「高度」「衛星数」「時計」の表示項目は GPS が受信できていないと正常に表示されません。

◆ トヨタハイブリッド専用表示項目一覧

項目名		単位			
日本語	英語	SI	USA	衣小内 谷	
FMトルク	F-TRQ	Nm	Nm	フロント側モーターの出力トルク	
FM回転数	F-TACHO	rpm	rpm	フロント側モーターの回転数	
RMトルク	R-TRQ	Nm	Nm	リア側モーターの出力トルク	
RM回転数	R-TACHO	rpm	rpm	リア側モーターの回転数	
トルク配分比	T-RATIO	%	%	フロント、リアのモータートルク配分比	
バッテリー容量	HV SOC	%	%	ハイブリッドバッテリーの電池容量	
HV電流	HV-A	A	A	ハイブリッドバッテリーの電池電流	
HV電圧	HV-E	V	V	ハイブリッドバッテリーの電池電圧	
昇圧前	B-BOOST	V	V	インバーターへの入力電圧	
昇圧後	A-BOOST	V	V	インバーターからの出力電圧	
Gトルク	G-TRQ	Nm	Nm	発電用ジェネレーターの出力トルク	
G回転数	G-TACHO	rpm	rpm	発電用ジェネレーターの回転数	
エアコン	AIRCON	kW	kW	エアコン使用時の消費電力	

※装着車両の表示可能な項目については適合表をご確認ください。

◆ 86 (ZN6) / BRZ (ZC6) 専用表示項目一覧

項目名		単位		主二山家
日本語	英語	SI	USA	~ 衣小内谷
触媒温度	CAT-T	°C	°F	第一触媒の排気温度
ATF温度	ATF-T	°C	° F	オートマチックフルード温度 ※1
ブレーキ圧	BRAKE-P	なし	なし	ブレーキマスターにかかる液圧
ブレーキ圧V	BRAKE-V	V	V	ブレーキマスターの圧力センサー電圧
ノック補正	K-CV	° CA	° CA	クランクシャフト角度で表す、 ノッキングを感知した場合の点火時期制御後の学習値
ノック制御	K-V	° CA	°CA	クランクシャフト角度で表す、 ノッキングを感知した場合の点火時期
INJus	INJus	μs	μs	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射時間
噴射時間	INJ-#1	μs	μs	1気筒あたりの吸気ポート側インジェクターの噴射時間
直噴量	INJ-D	μs	μs	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射量
噴射時期	INJ-T	° CA	° CA	クランクシャフト角度で表す、 直噴側インジェクターの燃料噴射時期
噴射量	INJ-A	ml	ml	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射量
燃料残量	F-GAUGE	L	L	燃料タンク残量
空燃比A/F	J-A/F	_	_	全領域センサー(A/Fセンサー・第一触媒前)で 計測された実空燃比
T空燃比	T-A/F	-	-	各種制御の目標となる空燃比
ギヤZN6	GEAR ZN6	-	-	現在のギヤポジション(ZN6専用、OBDより取得) ※2

※1「ATF 温度」の項目は AT 車のみ表示可能です。

※2 車両設定 - ギヤの「変速タイプ」設定を装着車両の変速機タイプに合わせてください。(P.31)

トラブルシューティング

本製品の使用にあたり、正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、症状の確認と 不具合の改善を試みてください。 症状が改善しない場合は、販売店・取り付け店にご相談いただくか、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
電源が入らない	・OBD ハーネスの水色オスコネクタにシガープラグを接続していますか? ・車両の OBD コネクタを又取りしてその他製品と併用していませんか? 車両 OBD を又取りした場合、正常に動作しない場合があります。
電源が切れない ON/OFF を繰り返す	 OBD ハーネスの水色オスコネクタにシガープラグを接続していますか? 車両のシガーソケットが ACC や IG-ON 連動ではなく常時電源ではないでしょうか? 車両のシガーソケットが常時電源の場合はシガープラグを加工して、 ACC または IG-ON 電源に直接接続してください。
通信エラー (Connection Failure)になる	 ハーネスの断線や接触不良はありませんか? 装着車両にあった通信種別が選択されていますか? 通信変更時やオールリセット後はエラーが出る場合がります。再起動してから試してください。 装着車両の ECU を社外品または書き換えを行っていませんか? ECU 交換や書き換えを 行っている場合、通信が純正 ECU と異なるため、エラーとなる場合があります。 車両配線の経年劣化などにより、車両信号が弱く通信が確立できず正常に動作しない 場合があります。この場合、装着することができませんのでご了承ください。
タッチパネルが反応しない	 ・表示項目の変更や画面の切り替え直後は通信を行う関係上、多少反応が鈍くなる場合が あります。本製品の故障ではありません。 ・一部のトヨタ車で TOYOTA CAN で本体動作が遅く、タッチパネルが反応しない場合は、 TOYOTA CAN2 の通信を選択してください。
純正メーター(純正値)と 誤差がある	 ・本製品は車両 ECU がエンジン制御に用いるセンサー数値などの情報を元に表示しています。 純正のメーターと多少の誤差が生じる場合がありますが、本製品の故障ではありません。 ・装着車両の ECU を社外品または書き換えを行っていませんか? ECU 交換や書き換え、 またはセンサーに対して疑似信号を出力する製品が装着されていると誤差が生じる場合があります。
表示されない項目がある	 ・メーカーや車両ごとに表示できる項目が異なります。また、年式や車両の仕様やグレードの 違いによって、表示できる項目が異なる場合があります。
画面が暗い	・バックライトの輝度設定が暗くなっていたり、減光機能が ON 状態になっていませんか? ・減光機能が AUTO の状態で、照度センサーの穴を塞いでしまっていませんか?
画面がちらつく	 ・バックライトの輝度設定を調整してください。見る角度と、輝度の設定値によっては、 液晶がちらついているように見える場合があります。 ・バックライトの減光機能が AUTO の状態で、建物の影などでも減光が ON/OFF 切り替わって しまう場合は、減光感度を変更してください。
ログを USB に保存できない バージョンアップができない	 ・使用している USB メモリは本製品に対応するものですか?使用可能範囲の USB メモリでも、本製品との相性が合わず使用できない場合があります。 ・使用している USB メモリ内に本製品で使用するデータファイル以外が保存されていませんか?バージョンアップを行う場合は、USB 内にバージョンアップデータのみを保存してください。 ・USB メモリを使用する前にフォーマットを正しく行っていますか? ・USB A-USB Micro B 端子変換コネクタを使用している場合、OTG 対応のものでしょうか? OTG 対応の変換コネクタでないと、本製品で USB メモリを認識できません。
VSC/TRC が OFF にならない	 ・走行中に VSC/TRC をカットする操作を行っても、車両が信号を受け付けずエラーとなり VSC/TRC は OFF 状態になりません。車両を停車させた状態で操作してください。 ・エンジン水温が低い状態で VSC/TRC の OFF 操作を行っても、車両が信号を受け付けず、 VSC/TRC が OFF 状態にならない場合があります。エンジンが暖気後に再度 VSC/TRC を OFF する操作を行ってください。
VSC/TRC の反応が悪い	 ・VSC/TRC の ON/OFF 操作を行っても、車両との通信のタイミングにより多少のタイムラグが発生します。本製品の故障ではありません。

トラブルシューティング

症状	原因および対策
GPS を受信できない GPS の受信感度が悪い GPS を使用する機能の動作が 安定しない	 ・本製品をコンソール内や内装パネルに貼り付けした場合、正常に受信できない場合があります。また、ダッシュボード上に付属ステーを使用して取り付けた場合でも、車両のルーフに被るなどで受信感度が悪くなる場合がありますのでご注意ください。 ・本製品の近くに、その他の GPS を受信する電装品や、通信を行う電装品がある場合は、本製品もしくは、その他電装品を離して装着してください。 ・UV カットガラスや IR カットガラス、また一部車両のフロントガラスにおいて、ガラスの仕様によっては衛星からの電波が遮断される可能性があり、GPS を受信できない場合や、受信に時間がかかる、測位した衛星数が少なくなる場合があります。
時計の時刻が現在時刻から 数時間ズレている	・GPSを正常に受信していない可能性があります。本製品の装着位置を見直してください。 ・本製品のタイムゾーン設定が日本(0)以外になっていませんか?
正しく LAP を計測できない	 LAP を計測するコースの地点登録は行っていますか? 工場出荷時に登録されているサーキット以外の場合、正しくGPS 登録が行えていない場合があります。再度GPS の登録を行ってください。 コースの地点登録を地図アプリの緯度経度を参考に手動入力した場合、実際のGPS の緯度経度とは誤差がある場合がありますので、ご注意ください。 ミニサーキットで地点登録をGPS AUTO で行った場合、誤計測してしまう場合があります。この場合、GPS 取得で再度地点登録を行ってください。 LAP を計測するコースの選択は合っていますか? 本製品がGPSを測位できる場所に設置されていますか? 電源が入ってからGPS を測位するまで多少時間がかかる場合があります。 また、建物の影など場合は正しくGPS を測位できない場合があります。
G センサーモニターがズレる	 ・Gの初期化を行ってください。 ・本製品が車両の進行方向に対して斜めの向きになっている場合、Gセンサーモニターの動きが多少ズレることがあります。本製品が極力進行方向に垂直になるように取り付けてください。
スマホと無線 LAN 接続できない 無線 LAN が安定しない	 ・本製品の無線 LAN 設定が ON になっている状態で、スマホの無線 LAN 設定も ON になっている状態ですか? ・近くに登録済みの別のアクセスポイント接続機器がある場合は、そちらが優先になる場合があります。その場合、優先となってしまう無線 LAN の登録を一旦削除してください。 ・接続登録されたアクセスポイントが多く保存されていると動作が不安定になる場合があります。登録済みアクセスポイントの整理を行ってください。
無線 LAN パスワードを忘れた パスワードがわからない	・本製品の設定よりパスワードの変更を行ってください。
スマホと無線 LAN 接続すると インターネットに接続できない	 ・本製品とスマートフォンを無線 LAN 接続すると、スマートフォンは 4G/5G に繋がっていても インターネットへの接続やその他のアクセスポイントとの接続ができません。 本製品の無線 LAN 設定を OFF にするか、スマートフォンから本製品のアクセスポイントを 削除してください。
エンジンをかけると常に タッチブレインに繋がってしまう	 ・本製品の無線 LAN 設定を OFF にしてください。 スマホと無線 LAN 接続を使用する時に都度本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。 ・スマホ側の設定より本製品のアクセスポイントへの自動接続を OFF にしてください。

製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
TEL	0422-60-2277
FAX	0422-60-0066
URL	http://www.blitz.co.jp/

<u>発売元</u>

発売元	株式会社ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
取扱説明書番号	1517501
初版作成年月日	2022年6月1日

保証規定とカスタマー登録

製品保証を受けるためには下記カスタマー登録を必ず行ってください。

保証規定について

- 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- ●弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、 弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ●弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において 保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させて頂きます。
- ●本製品が原因で生じた傷害(車両トラブル、その他の事故一切)や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用(脱着工賃、関連作業工賃、送料、関連して生じた直接および間接の損失、損害)につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 弊社では正規代理店、正規販売店以外から日本国外に販売された商品について、保証期間内であっても 保証対象外となりますので、予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために 「カスタマー登録」をお願い致します。

手元に保証書をご用意してください。登録には保証書に記載されているシリアル No. が必要になります。 下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。 パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター(0422-60-2277)までお問い合わせください。 尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、 ご注意ください。

http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html



<u>プライバシーポリシー</u>

株式会社ブリッツ(以下「当社」といいます)はお客様からお預かりした個人情報の保護は きわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め 確実な履行に努めてまいります。

- ●当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- ●当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。